

| | |
|----------------------|-----------------------|
| 東洋羽毛工業(株)CS 推進部課長 | 佃 光明 様 |
| 蔭山(株)商品開発・品質管理担当部長 | 小島 祥栄 様 |
| 日本ふとん製造協同組合専務理事 | 只野 悟 様 |
| ダイワボウ・ノイ(株)ライフスタイル部長 | 巽 哲一 様 |
| (株)エビス営業部 | 米山 幸平 様 |
| 西川リビング(株)法務室長 | 吉兼 令晴 様 (業種別委員長) (欠席) |
| (一社)日本寝具寝装品協会専務理事 | 奥谷 孝良 事務局： 中村 富夫 |

JBA 第 4 期業種別委員会：第二回ふとん部会 議事録

記

1. 開催日時 平成 29 年 8 月 25 日 (金) 13:30~15:30
2. 開催場所 JBA：(一社)日本寝具寝装品協会 日本橋小舟町事務所内
東京都中央区日本橋小舟町 7-2 小舟町 243 ビル 7F ☎ 03-6661-0213
3. 議題(1) 掛けふとん類の消費者問合せ内容について (各社集積の資料データ報告)
(2) 掛けふとん類の評価方法について (生地/詰めもの/仕立のデータ報告)
(3) その他

議事録

議題 (1)

佃部会長：当社は職域販売主体なので、消費者問合せデータで参考なるものなし。

米山委員：製造主体なので 直接消費者接点がない。

奥谷専務：日本睡眠環境学会の製品性能評価検討委員会で、9月7日に消費者アンケート等
を検討実施する予定もあるので、それ等も参考資料となりうる。

議題 (2)

奥谷専務：製品の生地、詰めもの、仕立のマトリックス表を作りランク付けするのが良い。
当部会では、そこから評価策をすすめていきたい。

小島委員：生地にはそれぞれの目的によって特徴が異なるのでランク付けは難しいと思う。

奥谷専務：生地評価試験の一つとしてカンチレバー法で柔らかさデータは取得可能である。

巽委員：後加工、風合い加工等で同じ生地でも違ってくる。

奥谷専務：生地に求める消費者ニーズは、柔らかさ、軽さ、耐久性、通気性、吸放湿性、
保温性等であろう。

只野委員：ウォッシュャブル性とか、取扱いノーアイロンとかの利便性評価もある。

米山委員：モニター方式で 100 人に聞きましたの実験法もある。

奥谷専務：ベッド派とフロー派とでも、求めるニーズが違ってくる面がある。

小島委員：製品保温性試験での生地そのものの影響はほとんどないということだ。

中村 JBA：生地なくしてふとんは製品にならず、保温値だけではなくドレープ性要素が高い。

小島委員：生地は保温性ではなく寝心地への影響が大きい。生地の評価項目ごとに段階評
価し、評価項目自体に優位順列を付けることで平均点ではない総合評価が可能
になるのではないか。

[生地マトリックス表]

| 評価項目 | | ドレープ性 | 吸透湿性 | 軽さ | 耐洗濯性 | 総合評価 |
|-------------|----|-------|------|------|--------|------|
| 評価度(優位性) | | 5 | 3 | 1 | 1 | 10 |
| 組成 | 織 | 評価×5 | 評価×3 | 評価×1 | 耐洗濯性×1 | 総合点 |
| 綿100% | 縹子 | 5×5 | 5×3 | 3 | 1 | 44 |
| | 綾織 | | | | | |
| | 平織 | | | | | |
| PE80%/C20% | 平織 | 2×5 | 2×3 | 5 | 5 | 26 |
| TTC | 平織 | | | | | |
| PE100% | 平織 | | | | | |
| 再生40%/C60% | 縹子 | 5×5 | 3×3 | 2 | 1 | 37 |
| | 綾織 | | | | | |
| 再生40%/PE60% | 縹子 | | | | | |
| | 綾織 | | | | | |

*試験反は蔭山(株)で各1m手配

[生地機能別5段階指標]

| 機能 | レベル5点 | レベル4点 | レベル3点 | レベル2点 | レベル1点 |
|-------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| ドレープ性 | ボーケン試験 | | | | |
| 吸透湿性 | ボーケン試験 | | | | |
| 軽さ | 100g/m ² 未満 | 110g/m ² 未満 | 120g/m ² 未満 | 130g/m ² 未満 | 130g/m ² 以上 |
| 耐洗濯性 | P F W 全可 | W 可 | 弱W 可 | P F 可 | 洗濯 不可 |

*耐洗濯性指標が 生地でなく製品状態ではないのですか？ 要検討

[詰めもの5段階指標]

| 詰めもの | レベル5点 | レベル4点 | レベル3点 | レベル2点 | レベル1点 |
|-------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|---------------------------|
| 羽毛 Dp | 440 cm ³ /g | 400 cm ³ /g | 350 cm ³ /g | 300 cm ³ /g | 300 cm ³ /g 以下 |
| 合織 | | | | | |

小島委員：合織わたしは、JIS 嵩高測定法がある。(JIS1914 ふとんの弾力性試験方法)

只野委員：合織には他に求められる機能で、抗アレルギー等がある。

小島委員：ヘタリ、風合はどうするのか、要検討と思う。

奥谷専務：詰めものとして、羊毛100%とか、真綿ふとん、再生繊維わたふとんはマニアックであり、特殊分類とし、まずは一般ふとんから評価作業を始めたい。

次回は、ボーケン品質評価機構を呼びたいので小島委員は吉兼委員長と担当者は誰がふさわしいか？聞いておいて頂きたい。

次回開催日9月19日迄に、和歌山染工加工生地を試験反として、綿60、80、100番手、綿綾織40番手、PE50d、TTC 日本製 中国製、再生繊維はあるもの準備で、蔭山(株)小島委員と西川産業商品部交えながら用意することとする。

議題(3)

佃部会長：次回9月19日、10月18日、11月15日、12月22日で開催します。 以上